※令和４年度以降入学生用

学校番号	324

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「詳述倫理」（実教出版）						
副教材等	「テオーリア　最新倫理資料集」（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

青年期の意義や課題、ギリシア思想、そして世界宗教であるキリスト教・仏教・イスラーム教などを中心に、これからの自分の生き方を考えるうえで参考となる思想を勉強していく。現代の不安定な社会において、自分とは何か、自分はどこへ向かい、何を形成していくのか。近代の先にある社会を、先哲の思想をたどりながら考えていきたい。授業の中で様々な考えに触れ、自らの人生が豊かなものになるよう、この授業を生かしてほしい。

２　学習の到達目標

・古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身につける。
・自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を身につける。
・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・古今東西の幅広い先哲の思想や、青年期における自己形成や人間としての在り方・生き方などに関する基本的な知識を、自己の人格形成や現代の倫理的課題との関わりにおいて理解している。 ・古今東西の幅広い先哲の思想や、自己形成や人間としての在り方・生き方する資料や現代の倫理的課題に関する様々な資料を収集、主体的に選択し、自己形成や人間としての在り方・生き方を考察するために活用することができる。	・他者と共に生きる自己の確立についての課題を見つけ、人間の存在や価値などについて多面的・多角的に探究しようとしている。 ・古今東西の幅広い知的蓄積をふまえて、広い視野に立ち、良識ある公民として、主体的かつ公正な判断ができるように取り組んでいる。	・人格形成の主体としての自己の確立に努める実践的意欲を持っている。 ・個人としての人間や、多様性に対する関心を持ち、これを尊重する精神を高めようとしている。 ・倫理的な諸課題について、探究する態度を身につけ、人間としての在り方や生き方への自覚を深めようとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理	・生命の倫理 ・環境の倫理 ・科学技術の倫理	a：生命、自然、科学技術などと人間との関わりに関する用語や概念を理解している。 b：生命、自然、科学技術などと人間との関わりについて倫理的課題を見いだし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。 c：人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	定期考査	定期考査 レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

	社会と文化にかかわる諸課題と倫理	・福祉の課題 ・文化と宗教の課題 ・平和の課題	a: 福祉、文化と宗教、平和などに関する用語や概念を理解している。 b: 福祉、文化と宗教、平和などについて倫理的課題を見いだし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。 c: 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	定期考査	定期考査 レポート	ワークシート レポート
	自己形成と自己の生き方	・青年期の課題と自己形成 ・人間とは何か	a: 人間の特質と個人の人格形成における青年期の特徴と重要性を理解し、その知識を身につけている。 b: 自己や自己の世代が課題として捉えていることを的確に表現することができる。 c: 人格の形成期としての青年期の意義を認め、主体としての自己の確立に努める意欲を持っている。	定期考査	定期考査 レポート	ワークシート レポート

※令和４年度以降入学生用

後期	人間としてのあり方生き方	・ギリシア思想 ・キリスト教 ・イスラーム ・仏教 ・中国思想 ・宗教・芸術と人生	a: 幸福，愛，徳などに着目して，人間としての在り方生き方について思索するための手掛かりとなる様々な人生観について理解している。その際，人生における宗教や芸術のもつ意義についても理解している。また、古今東西の先哲の思想に関する原典の日本語訳などの諸資料から，人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けている。 b: 古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして，より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	定期考査	定期考査 レポート	ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度